



## ごあいさつ

日頃は根津グループとお取引頂きまして、誠にありがとうございます。  
今回のNEZU システム通信は、パソコン廃棄時のデータ消去についてお届け致します。

2005年9月号のNEZU システム通信で「パソコンの安全な廃棄」について、ハードディスクの物理的な廃棄方法お届けしました。今号では、不要となったパソコンを廃棄する場合に行っておきたい情報漏洩対策をお届け致します。

## パソコンの処分方法

新しいパソコンを購入した等で不要となった古いパソコンの処分には以下のような方法があります。

- リサイクルによるメーカー引き取り（メーカーにて回収 無料回収・有料回収）
- メーカーの買い取り（メーカーによる買い取り回収 メーカーによる機種指定・限定あり）
- パソコンショップに売却
- リース会社に返却
- 個人売買や譲渡
- 自治体への不燃物としての廃棄（分解して資源ごみ、不燃ごみとして廃棄 自治体に確認が必要です）



上記の処分方法の何れもハードディスクにデータが残っている為に企業情報・個人情報引き出されてしまう危険が含まれています。この危険を回避する為に2005年9月号のNEZU システム通信ではハードディスクの破壊を紹介しましたが、今号ではリサイクルや売却という観点から、ソフト的にデータの抹消方法を紹介致します。

## 情報漏洩対策にデータ消去ソフト

パソコンを手放す前に行っておきたいことは、ハードディスクのデータを完全に抹消しておくことです。

データが残ったままのパソコンを手放すのは、情報漏洩を引き起こす大変危険な行為になります。古いパソコンを引き取った側ではデータの保障をしてくれませんので、“**守るべき情報は自分で守る**”という観点で、**自身の手でデータの抹消を行うことが必要です。**

**注意したいのが、データを削除(ごみ箱に移動)したり、パソコンのリカバリー(データをパソコン出荷時の初期状態に戻す)等を行ったりしても、データの完全抹消とはなりません。**削除やリカバリーを行っただけでは、パソコン上ではデータを読み出せなくなるだけで、データはハードディスクに残っています。復元ソフト(削除したデータをパソコンで読み出せるように復元するソフト)を使えば、これらのデータを元に戻すことができます。

データを完全に抹消するには、下記のハードディスクデータ消去ソフトを使用することで対処できます。データ消去ソフトでデータを抹消すると、データ復元ソフトでも復元は不可能です。インターネット上にはフリー(無料)ソフトのデータ消去ソフトも多数存在しますが、フリーソフトの場合には動作は保障されませんので使用をする場合は注意が必要です。

検索サイトで、次のようなキーワードで検索すると、いろいろな情報が入手できます。

データ消去ソフト 情報漏洩

検索



## ハードディスクのデータ消去ソフトの一例

製品名	価格	内容
<b>ターミネーター8.0 データ完全抹消</b> メーカー：AOS テクノロジーズ <a href="http://aos.com/">http://aos.com/</a>	ダウンロード版 6,143 円 パッケージ版 6,962 円	OSごとハードディスクを完全抹消。ドライブ単位やメディア内のデータを選択してデータ末梢することも可能。法人使用で11台以上のパソコンで使用する場合は法人ライセンス購入が必要。
<b>完全消去マスター4</b> メーカー：フロントライン <a href="http://www.fli.co.jp/index.html">http://www.fli.co.jp/index.html</a>	ダウンロード版 4,935 円 パッケージ版 7,350 円	消去回数が無制限のディスク消去とファイル消去を搭載(パソコン1台ずつの消去であれば100台のパソコンの消去が可能)。同時に複数のパソコンの消去をする場合はライセンス購入が必要。
<b>SOURCENEXTstyle ドライブクリーナー</b> メーカー：ソースネクスト <a href="http://www.sourcenext.com/">http://www.sourcenext.com/</a>	ダウンロード版 3,970 円 パッケージ版 3,970 円	簡単な操作でパソコンのデータを安全に消去。個人利用の場合は何度でも消去可能。大量購入の場合はライセンス購入が必要。

詳細につきましては、各メーカーのホームページをご覧ください。

## 磁気力でデータ消去

データ消去ソフトでの作業時間はハードディスクの容量にもよりますが、1台のパソコンにつき、30分から数時間掛かります。万全を期す為に2~3回データ消去ソフトを実行することもありますので作業時間は数時間掛かり、廃棄パソコンが数台あればその数の時間が掛かります。個人の場合は1~2台程度なので処理時間は問題ないと思いますが、企業の場合で、数台~数十台の消去作業となりますと膨大な作業時間を必要とするでしょう。

このような場合の対応策に、強力な磁気をハードディスクに浴びせることで一瞬にしてデータのみを破壊するという手法もあります。しかし、強力な磁気を発生させる専用装置を購入するとなると、高額なコストが発生してしまうので、この装置を持っている業者に消去依頼をしてみることも手段の一つになりますね(業者との情報漏洩対策の為に秘密保守契約等が必要です)。壊れてしまって動かなくなったハードディスクのデータ消去にも有効です。

上記の消去方法ですと、ハードディスク本体は壊れませんので、部品としてのリサイクルが可能となります。

確実な方法で情報漏洩対策を行い、リユース(再利用)・リサイクル(再生)・リデュース(削減)に取り組みながら“地球に優しい”パソコンの廃棄をしたいですね。



## 編集後記

こんにちは、情報システム事業部の添田です。暖房も冷房も必要としない、過ごしやすい季節になりましたね。

先日、写真のトイプードル(パトラ・1歳・雌)を連れて、那須高原のマウントジーンズ展望ロープウェイやムツゴロウ動物王国に行ってきました。那須高原は大好きな場所なのでよく出かけますが、犬を連れて行くのは初めてでした。ロープウェイでは犬用の搭乗チケットがあったことに感心です。ムツゴロウ動物王国では、パトラを初めてドッグラン体験をさせたのですが、遊びに誘ってくる他のワンちゃんたちを怖がって逃げてばかりでした。私たちに抱っこして!とジャンプ。飼い主としては他のワンちゃんたちと一緒に遊んで欲しいのですが、克服はできるのでしょうか。楽しく駆け回る姿をみたいので、時間を作ってドッグラン通いをしようと思います。



発行：根津鋼材 株式会社 住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-2-3 (TEL)03-3805-5555  
メール：[hp\\_master@nezu.g.co.jp](mailto:hp_master@nezu.g.co.jp) ホームページ：<http://www.nezu.g.co.jp/>  
発行人：根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長  
編集：情報システム事業部 NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが [hp\\_master@nezu.g.co.jp](mailto:hp_master@nezu.g.co.jp) までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願ひ致します。